

2025年 AI覇権戦争の最前線

2025年、AI業界の競争は単なるモデル性能の比較から、ハードウェア、インフラ、応用形態を巻き込んだ総力戦へと移行。
GoogleとOpenAIの二強対決と、業界全体を揺るがす構造変化が同時に進行している。

激化するGoogle対OpenAIの覇権争い



Google、Gemini 3とTPUエコシステムで本格反撃
新モデルの性能と専用半導体TPUで、OpenAI+Microsoft連合に対抗。

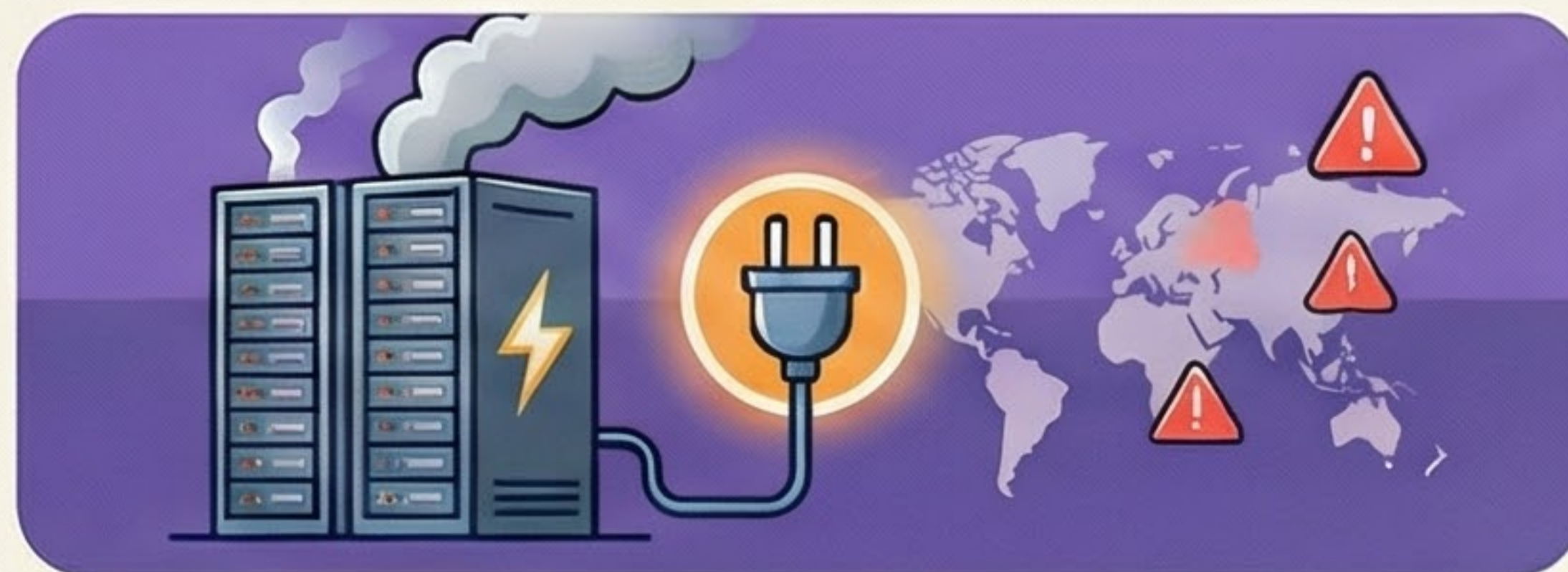


OpenAI、「コードレッド」を発令しGPT-5を連続投入
Googleの遅延に危機感を抱き、製品改善と性能向上で主導権維持を図る。

AI開発の新たな競争領域



「スケーリング則の終焉」巨大化路線からの転換
モデルの巨大化だけでは限界が見え、質的深化
を目指す新アプローチが模索される。



AI競争のボトルネックは「電力」へ
データセンターの電力消費が急増し、電力
確保が国家レベルの戦略課題となる。



「AIエージェント革命」業務の自律化が加速
目標を与えるだけで、複数ステップの業務を
自律的に計画・実行するAIが登場。